

学校だより 第11号

平成 30 年度全国学力・学習状況調査結果

4月に実施した6年生の全国学力・学習状況調査の結果が出ましたので、公表いたします。

今年度の調査教科は、国語A・算数A（主として「知識」に関する問題）、国語B・算数B（主として「活用」に関する問題）、理科の3教科です。

国語と算数のA領域は、後の学年等の学習に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠で、常に活用できるようになっておくことが望ましい知識・技能です。

B領域は、知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や様々な課題解決のために構想を立て、実践し、評価・改善する力です。

また、理科は、3年に1度実施しています。

結果は、全国平均と比較して、①上回っている、②やや上回っている、③同程度である、④努力を要する、の4段階で表しています。

本年度6年生児童の結果は、次のとおりです。

今回の成果と課題を分析し、今後も学力向上を図りたいと存じます。

○国語A（知識）：③「全国平均と同程度である」

国語に関する基礎的な学力は、ある程度身につけています。「話すこと、聞くこと」に、学習の成果が見られます。しかし、「読むこと」や「書くこと」に関しては、課題がありました。「漢字の使い方」に関しても、まだまだ課題が見られます。

もっと読書量を増やしたり、日記を書いたりすることが基礎学力の向上・定着につながると思われます。

○国語B（活用）：②「全国平均をやや上回っている」

この領域では、全問にわたり、これまでの学習の成果が見られました。「国語への関心・意欲・態度」や「話す・聞く能力」に関しては、高い正答率でした。

しかし、記述式の回答方式に多少の課題が見られました。日頃から自分の考えをまとめたことを相手にわかりやすく伝えたり、文章に表したりすることが大切です。

○算数A（知識）：②「全国平均をやや上回っている」

「数と計算」、「量と測定」、「図形」、「数量関係」において、基礎的な力が定着しています。しかし、「空間における位置関係」や「単位量」に関する問題など、実生活と結びつく問題に課題が見られました。

○算数B（活用）：③「全国平均と同程度である」

成果が見られる項目もありましたが、「示された考え方を解釈し、適切な回答を導き出すこと」や「図形の構成要素をもとに考えること」に関して、課題が見られました。

この領域においても、読書量を増やし、読解力を高めていくことが必要です。

○理科：③「全国平均と同程度である」

理科は、1つのテストで「物質・エネルギー」、「生命・地球」の領域を実施しています。

今回は、上記の領域において、「観察・実験の技能」や「自然事象への知識・関心」に関して、やや課題が見られました。

そこで、日常の学習において、観察・実験の充実を図るとともに、学習内容と実生活で起こっている事象とを結びつけて考える習慣が身につくよう、指導方法を工夫したいと思います。

○生活習慣等

児童質問紙では、学習意欲や学習方法、生活環境、生活の諸側面等に関する調査を行いました。

「自分にはよいところがあると思う。」「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。」など、自尊感情に関する項目に関しては、取組の成果が見られました。

しかし、「学校のきまりを守っている。」「朝食を毎日食べている。」「毎日同じ時刻に寝ている。」など、規範意識や生活習慣の項目では、課題が見られました。

◎今後の取組について

6年生は、卒業までの半年間で、基礎・基本の定着や学力の向上、規範意識の醸成および生活習慣の見直し・定着を図りたいと思います。

具体的な取組として

○学習中における話し合い、交流、鑑賞活動の充実

○少人数指導の充実

○自学の推進

○ノートの書き方指導

○「特別な教科 道徳」の充実

○仲間意識や規範意識を高める取組の推進

○読書活動の推進 など

ご協力、よろしくお願いいたします。

いじめゼロに向けて

8月21日（火）、「いじめゼロサミット2018」が、南市民センターで開催され、本校からも代表児童が参加しました。2学期始業式の際、当日の内容やこれからの本校での取組について、参加した代表児童から全校児童に伝えてもらいました。

今回のスローガンは、「つながる」です。各校でそれぞれに、いじめゼロに向けた取組が企画・実施され、成果も上がっているようですが、まだまだ課題も残されています。本校にも、いじめゼロを実現するために改善しなければならない点が多々あります。

これからも、いじめを「しない」「させない」「許さない」という強い信念を持った子どもを育てるとともに、いじめを生まない学校風土を築くために全力を尽くしたいと思います。ご協力、よろしくお願いいたします。